

先日の教科別授業研究会，大変お世話になりました。授業者先生，3年団の先生方をはじめ，たくさんの先生方のご支援のおかげで充実した研究会となりました。授業づくり，運営準備・片づけなど本当にありがとうございました。

当日の授業が参観できなかった先生もいらっしゃると思いますので，ご授業の様子や授業づくりの工夫・手だてなど，少しご紹介させていただこうと思います。

お店のひみつ調べ隊

1. 単元のおおまかな流れ

- ・買い物調べをして単元の学習問題をつかむ。

学習問題「なぜスーパーマーケットには，たくさんの人が買い物に行くのだろう。」

- ・予想をして調べ方を考える。（本時）
- ・スーパーマーケットを見学して工夫を見つける。
- ・販売の工夫，商品の仕入れ先，消費者の願いとのつながりなど調べたこともとに話し合い
- ・スーパーマーケット以外のお店について広げて考える。

2. 本時のおおまかな流れ

- ①前時の振り返りを紹介して，学習への意欲を高める。

めあて「なぜスーパーマーケットで買い物をする人が多いのかを予想し，学習計画を立てよう。」

- ②予想をして，みんなで話し合う。

- ③調べ方を考える。④本時の学習を振り返る。

3. 単元づくりの工夫・手だて（主なもの）

○「買い物調べ」からスタート

買い物調べ（「どんな店で」「どんな物を買ったか」など約1週間，家庭で調べてくる楽しい宿題）

→「スーパーが圧倒的に多い！」「なんで!?」と強い疑問を感じて単元が始まる。

○予想の時間を大切に

今回の学習のように「予想」の時間を大切にすると…

→今後の学習で「本当か確かめたいくなる」「見学の観点を意識できる」

「予想と実際のズレを考えたいくなる」など主体的な学習へつながる。

→子どもらしい楽しい予想をワイワイと出し合ってみるのもいいですね。

○単元の最後，他の店へ広げる

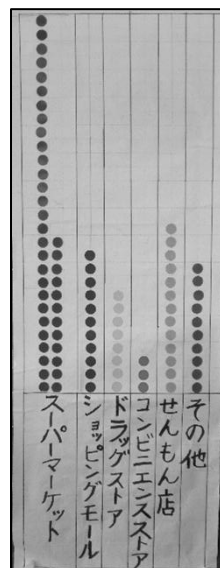
スーパーについて学んだことを生かして，「コンビニ」「ドラッグストア」

「専門店」「インターネット販売」など他の店へと少し広げて終わる。

比較→「あっ！他の店もスーパーと同じように…」（共通点）

「あっ！スーパーとはちょっと違って…」（違い）

「こんなときには〇〇の店を使えば…」（考えの広がり・深まり）



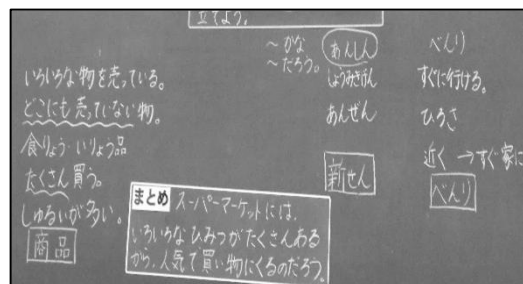
4. 授業づくりの工夫・手だて（主なもの）

○考えを深める問い返し

- ・「それは、コンビニには売っていないの？」（比較）
- ・「専門店にもあるけど、どうしてスーパーマーケットなの？」（比較）
- ・「スーパーマーケットの人って、いつ仕入れているの？」（より具体的に）
- ・「どんなことを調べていく？」「だれに聞きたい？」（調べ方） など

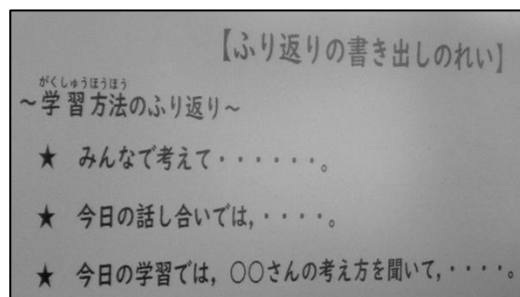
○観点ごとに分類する板書

- ・予想を「商品」「新鮮」「便利」などに分類
 - 予想していたことが分類されて分かりやすい。
 - 見学の道しるべ（目のつけどころ）になる。



○授業最初と最後の振り返り

- ・最初…振り返りの紹介
 - 前時と意識がつながる。意欲が高まる。
- ・最後…振り返りを書くときの例を出す
 - 苦手な子も書ける。考えが整理できる。



5. 研究授業から見てきたこと（主なもの）

- ・3年生は社会科の入門期。今回のように、「予想や調べ方がどんなものか」をていねいに説明して実際に考えてみるのが、今後に向けてとても大切。
- ・授業者は、スーパーの絵を最初から見せるかどうか、板書にどう表すかなど意図をもって授業を考えられていた。資料提示や板書など意図をもって練っていくことが大切。
- ・コンビニなどと比較したり、ゆさぶったりするのが大切。
 - 今回も「コンビニでもおいしいお弁当があるのに、なぜスーパーで買うの？」
 - 「コンビニは24時間買えるよ」など複数のゆさぶりの案をもって授業されていた。
- ・黒板に予想の「中身」がしっかり書かれている→振り返りを書く手がかりになる。
- ・「話し方・聞き方ナビ」が掲示されてた。校内で同一歩調で研究することが大切。
- ・単元づくりがていねい。単元を大切にすると、気になって疑問・意識が続いていく。
- ・授業者がしていたように「コンビニにはないの？」「これだけでいいの？」のように「なぜ？（根拠・理由）」など疑問を工夫することが大切。